



SLOW DOWN TIME

三ノ輪橋駅前再開発

日本で初めて訪ねた「喫茶店」は三ノ輪にあるお年寄りの夫婦が経営している店だ。その時、メニューに迷う私は、「モーニングはどう、コーヒーと食事両方付から」とおじいさんに言われた。もう午後二時だけど、まだモーニングが頼めるのかと思い、「どんなものを作ってくれるかな」と期待していた。店に流れるジャズや、長年経ったインテリアが、時間の流れを緩やかにさせていると感じたことが鮮明に印象に残っている。

その喫茶店の近くにはジョイフル三ノ輪という商店街がある。昔からの商店街で、今も昔のままになっている。古い看板、店の外ではみ出した商品、すべてが昭和レトロ感に溢れている。ジョイフル三ノ輪にいると、時間が止まっているように感じた。ここで店を営んでいる人も客も、お年寄りが多い。住宅街に隣接するので、利用者はほとんどその辺の住民だ。

ジョイフル三ノ輪の並びに、荒川電車が走っている。隣にある三ノ輪橋駅に、電車のファンがよく写真を撮りに来る。それ以外の観光客はあまりいない。

喫茶店は、コーヒーや食事を提供するだけの場所ではない。三ノ輪の喫茶店は、ジョイフル三ノ輪と同じで昔から何も変わらない。そこにいると、都会にいたいことを忘れてしまう。現実から逃げ出したいとき、そのような空間に行ければ良いと思う。

三ノ輪にとって、変わるべきこと、そのまま続けてほしいことはなんでしょう。今のものを生かして、どう変わって行くべきかを考え、時間をゆっくり過ごせる場所を提案した。



この提案の敷地は、三ノ輪橋駅側に位置するジョイフル三ノ輪の入り口の周りである。後ろの住宅地への一本の車道が敷地を通過している。



三ノ輪



三ノ輪地区は、荒川区の南千住と接し、昭和の雰囲気は今も多く残った、どこか懐かしい下町の住宅街である。浅草、上野に近いが、大きく変化することはなく、昔ながらの店がたくさんある。特に喫茶店をやっている人は、何十年間も続いてきた。ここに言う「喫茶店」は、チェーン店や、スタイリッシュなカフェと違い、一つ一つの、雰囲気とサービスが独特の個性を持っている店である。

三ノ輪橋駅は、荒川区の三ノ輪にある、荒川線の始発駅だ。沿線には、桜やバラなど花の見えるところや歴史・文化に触れられる名所旧跡、生活感あふれる昔ながらの商店街など、魅力のあるスポットが多い。鉄道ファンがよく来る。



三ノ輪橋駅



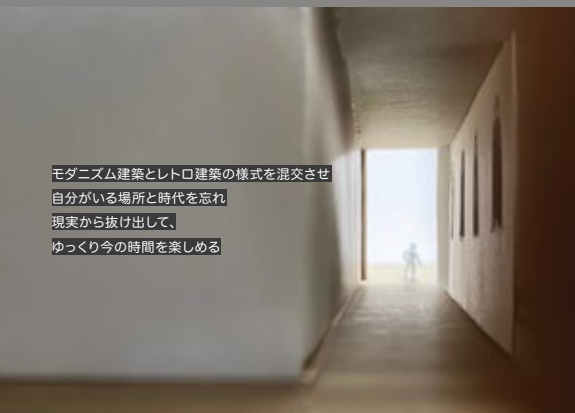
ジョイフル三ノ輪

三ノ輪橋駅の隣に、ジョイフル三ノ輪という古い商店街がある。大正時代開業してから、長年地元の人から愛されていて、下町風情がたっぷり。ジョイフル三ノ輪は、今も昔のままになって、昭和レトロ感が溢れている。

ジョイフル三ノ輪は近くの住民の日常生活を支えている。パン屋、八百屋、肉屋、菓子屋、クリーニング、お湯場などの店が入っている。利用者はほとんどお年寄りの世代。三ノ輪駅と三ノ輪橋駅に近いので、仕事帰りにジョイフル三ノ輪に寄る若者もいる。とても便利の場所である。昔は賑やかだったが、今は三分の一の店が閉まっている。ここにいると、時間が止まったような感じがする。時代と場所を忘れるようなところだ。



忙しい日常から抜け出し、
ゆっくり時間の流れを感じよう



モダニズム建築とレトロ建築の様式を混交させ
自分がある場所と時代を忘れ
現実から抜け出して、
ゆっくり今の時間を楽しめる



コーヒーを主題にして、いろいろなことが
できるための空間を含んでいる。



コーヒー作り



コーヒー豆の焙煎



コーヒーを飲む



コーヒー器具の販売



コミュニケーション



学習



などなど



コーヒーを勉強する

コーヒーを楽しむ

ライフwithコーヒー

「SLOW DOWN TIME」を日本語に訳すと、時間の流れを遅くすることである。
今の時代、人々は忙しい生活を送って、知らず知らずのうちに時間が過ぎたとよく感じ
ている。
疲れたとき、現実の世界から逃避したいとき、ゆっくり時間を過ごしたいときに、行く
べき場所を提案した。

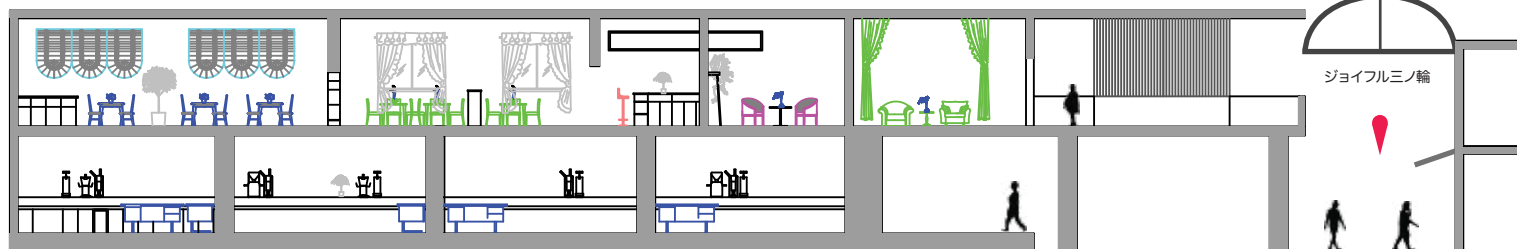
「Slow Down Time」この施設は、機能性によって、3つのエリアに分けられ
ている。様々な喫茶空間を集めた「コーヒーを楽しむ」エリアには、室外喫茶店
空間と室内喫茶空間がある。当日の気分による好きな形でコーヒーを楽しめる。
工房、図書室を設置した「コーヒーを勉強する」エリアでは、コーヒーの知識が
勉強でき、コーヒー豆の焙煎、加工することができる。
古書店と雑貨店は、「ライフwithコーヒー」エリアに含まれている。昔の本を
読んで、昔に戻った気分になり、心が落ち着くことができる。



「Slow Down Time」の入り口に、階段がある。三ノ輪には
お年寄りが多い、登りやすいため、30度の緩やかな階段を
設置した。車椅子が利用できるため、スロープも設置した。
隣の芝生に、休憩したり、コーヒーを飲んだりすること
ができる。



三ノ輪橋駅



ジョイフル三ノ輪

一階は開放的なカフェ。コーヒーを持ち帰って、好きな場所で一人の時間を過ごしたり、誰かと喋ったりすることができる。二階は、席の形、雰囲気によって、たくさんの喫茶店が入っている。自分が好きな店を選んで、コーヒーを楽しむことができる。



ここは、工房、図書室、教室の機能性が入ったエリアである。コーヒー豆の焙煎、コーヒーの作り方の勉強、コーヒーの加工などのことができる。生豆から、コーヒーができるまでのプロセスが体験でき、「自分のコーヒー」ができる楽しさを感じられる。



二階の広場の下の空間に、コーヒー豆入れ用の麻袋が吊り下げた。天然繊維とする麻生地は、空間の柔軟性を与え、リラックスできる空間になっている。丸いベンチがいくつかおいてある。ここはコーヒーを飲んだり、休憩できる空間である。コーヒーの香りでストレスを分散させよう。



一階と二階は雑貨店



二階は古書店